

# 北蟹谷見どころ・訪ねどころ ~その1~

## まつなが 松永

**1 巴塚・葵塚**  
源義仲に従った巴御前と葵御前の墓と伝わっています。



**2 源氏ヶ峰**  
源義仲の四天王の一人、今井兼平が攻め登った高台。



**3 千歳ヶ滝・兄弟ヶ滝**  
牛に追われた兵士の軍勢が滝壺を埋めたと伝わる滝。隣に「兄弟ヶ滝」があります。



**4 源平倶利伽羅古戦場「猿ヶ馬場」**  
寿永2年、源義仲が平維盛の大軍を奇策「火牛の計」で打ち破りました。猿ヶ馬場は維盛が陣を敷いた場所です。



**5 松永比枝神社** 松永地区の神社

**6 松永うの花農園直売所**  
松永うの花農園の特産「りんご」やリンゴジュース、アップルパイの直売所です。



**7 小耳入**  
平安時代末期の寿永2年(1183)、源義仲軍の武将根井小弥太が越中の住人蟹谷次郎を案内人として2千余騎を率い、ここから平家軍が陣取る最前線の源氏ヶ峰へと向かいました。その際、武将たち小耳入れた(囁き伝達した)と伝えられており、「源平盛衰記」にもその名が登場します。石碑は明治期に建立されたものです。



## きたいち 北一

**14 北一住吉神社**  
北一は、以前は「北市」と表記され、地区を流れる淡江川の舟運で「市」が立ち栄えました。祭神は海上守護の神です。毎年4月16日・8月31日の祭りに獅子が舞います。



## はっこうでん 八講田

**15 本観寺(山号:佛眼寺)・三十番神社**  
約1400年前の平安延暦年間、天台宗の僧が創建したと伝わっています。明徳年間に日蓮宗に改宗。毎年春には、しだれ桜を多くの人々が観に訪れます。毎年2月の涅槃会では涅槃団子が配られます。また、境内にある三十番神社は法華信仰と神道が結合した神社で、祭礼は神仏混合で行われています。

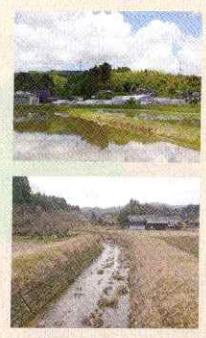


**16 一乗寺城跡**  
標高279mの升山の山頂に築かれた南北朝時代の山城。堀切り等が残っています。

**17 田近道**  
八講田又は、五郎丸から一乗寺城を経て金沢市森本から北陸道へ。

## まつお 松尾

**8 陣貝山(勢揃え山)**  
北蟹谷の松永地区北方の山中にあり、平安時代末期の寿永2年(1183)に源義仲軍が勢揃えして陣を張り、合戦合図のために陣貝(法螺貝)を吹き立てたことからこの名がついたと伝わる小高い山です。



**9 膿川**  
源平合戦で地獄谷に追い落とされた兵馬の死骸から出た夥しい膿が流れたと伝わる川です。

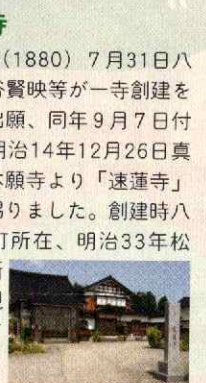
**10 倶利伽羅古道・道祖神**  
村落の道の辻、路傍、峠の塚などに石碑や石像の形態で祀られている神で、古い時代のもは、男女一対を象徴するものになっています。村落の守り神、子孫繁栄、道中安全の神として信仰されています。地元では神様石(かんさまいし)とも呼ばれています。縄文時代中期の石棒に良く似ています。



**11 松尾神社**  
往古大伴家持越中国入国の際参拝し、806年~809年に秦氏が京都の松尾大社より松尾大明神を勧請し、ご神体は弘法大師御作と伝え、拝殿幣殿は明治21年に21ヶ村650名の氏が金沢の前田家の祈願所「明王院愛宕堂」を移築したものです。無病息災、家内安全、道中安全を祈願し、4月21日と8月21日の大祭には獅子舞奉納があります。(中部北陸自然歩道起終点)



**12 速蓮寺**  
明治13年(1880)7月31日八伏村の大谷賢映等が一寺創建を石川県に出願、同年9月7日付け認可。明治14年12月26日真宗大谷派本願寺より「速蓮寺」の寺号を賜りました。創建時八伏村大勢町所在、明治33年松尾村談議所に移転、現在に至っています。



## たなだ 棚田

**13 棚田神明社**  
神社の屋根瓦の四隅に朱雀・白虎・青龍・玄武を配している。令和4年、約100kgの盤持石6個が忽然と移動し参道横に並べられ話題となりました。



## ごろうまる 五郎丸

**18 ヒガンバナの里**  
五郎丸地内に植えられた赤白約12万本のヒガンバナが咲き揃い、見事な景観を呈します。毎年9月中旬に観賞会が催されています。



**19 蟹懸橋**  
巨蟹伝説の蟹の死骸が懸かったとされる橋。



**20 五郎丸八幡宮**  
境内に盤持石が並んでいます。



**21 正念寺**  
浄土真宗の寺。



## はちぶせ 八伏

**22 蟹池**  
巨蟹伝説の蟹が住んでいたとされる池。



# 北蟹谷に伝わる巨蟹伝説

昔、越中・加賀境の山奥の池に大蟹が棲みつき、毎夜坊主に化けて民家に現れ、住人に問答を仕掛け、答えられないと餌食にしていました。或る夜、八講田の本観寺にその妖怪が現れ、和尚に「足が八本、手が二本、両眼は空を向いて横に走るものは何か?」と問いかけた。



賢明な和尚は即座に「それは蟹だ、おまえは蟹の化けものであろう。多くの人に危害を加えたことは許さない」と錫杖でその妖怪を一撃したところ、妖怪はたちまち逃げ去りました。翌朝、村人が隣村の五郎丸川に橋のように跨がって死んでいる大蟹を見つけました。その巨大な蟹は甲羅に人が8人も伏せることができるほど巨大でした。化け蟹の祟りを恐れた村人は、この近くに蟹懸橋を作りました。

その後、この地の橋を蟹懸橋と呼ぶようになりました。そして、この蟹の棲んでいた池を「蟹池」といい、その池の近くの集落を八伏と呼ぶようになりました。また、この地区の「北蟹谷」の地名はこの蟹池から由来していると伝えられています。



\*蟹懸橋は国道359号線の五郎丸町内にあります。蟹懸堂は現在ありません。蟹池は八伏集落(今は廃村)北の標高200mの山中にあり、周囲300m程で今は湿地となっています。

# 北蟹谷の特産品



販売: 村の駅きたかんだの郷 ☎ 0766-69-8836



販売: 松永うの花農園 ☎ 0766-68-1754 又はホームページ



販売: 末友宮農組合加工部 ☎ FAX 0766-69-8511

販売: 田中園芸 ☎ 0766-69-8924 又はホームページ



販売: ファーム義浦 ☎ 0766-69-8408 又はホームページ

# 巨蟹伝説と歴史の里

小矢部市

# 北蟹谷めし

富山県

- 北陸自動車道小矢部ICから5分
- 金沢市から一般道で30分
- あいの風石動駅から15分
- 富山空港から高速道で30分
- 小松空港から高速道で40分

[問合せ]  
北蟹谷地域活性化協議会(北蟹谷公民館内)  
〒932-0851 富山県小矢部市末友27 ☎ 0766-69-8321  
[HP: 北蟹谷だより] [FB: 北蟹谷だより] →検索

# 村の駅 きたかんだの郷

金・土・日 8:00~12:00 (1~3月は9:00~)  
☎ 0766-69-8836

**野菜直売**

- 山菜祭り 4月下旬~5月上旬
- 芋いも祭り 10月下旬
- 大歳の市 12月下旬

**かんだカフェ**

- コーヒー
- モーニングセット
- りんごジュース
- ソフトクリーム

**居酒屋「北酒場」**  
金・土 18:00~ (予約の場合は金土以外も営業します)

- お任せセット (飲み物付き) 3,500円

予約先 0766-69-8836 村の駅

**村の駅食堂**  
月~木 11:30~14:00

- 日替わりランチ 980円 (ご飯おかわりできます)
- うどん定食 500円
- 特産「芋とろろ丼 & ヤーコンサラダ」

# 魅力いっぱい 小矢部市



## おやべの名所・祭り・イベント



問い合わせ：小矢部市観光協会 ☎ 0766-67-1760

## 北蟹谷見どころ・訪ねどころ ~その2~

### すえとも 末友

**24 勝興寺跡 (山号：雲龍山)**  
 令和4年に国宝に指定された勝興寺(高岡市伏木)は、南砺市土山に創建され、高窪、末友に移り、8万石を領し寺内町三千軒といわれるほどに栄えました。鐘楼堂跡が市指定文化財となっており、付近には勝興寺に因んだ「上御亭橋」等の地名も残っています。



**25 火燈山 (勝興寺墓所)**  
 勝興寺住職「実玄」と「顕栄」の墓所。



**26 村の駅きたかんだの郷**  
**27 北蟹谷公民館**  
**28 北蟹谷スポーツセンター**



**29 末友八幡宮**  
 境内の南側を流れる小谷川との境には、勝興寺の土塁跡が残っています。4月第3土曜日と9月第3土曜日の祭りで獅子が舞います。

**29 西教寺～哲学の寺～**  
 浄土真宗の寺。先々代住職木場了本は西田幾多郎の教え子で親交深く、幾多郎の掛け軸、扁額等が残っています。先代住職木場深定は東北大学哲学科教授を務めました。



**30 小原道入口**  
 小矢部川の浅瀬を渡った藪波地内から勝興寺、松根城を経て石川県森本まで通じていました。抜け荷の道として黙認されていましたが、「ぼどこ」(番所)の地名もあり、加賀藩による取締りがあったことが伺えます。



### うすたに 白谷

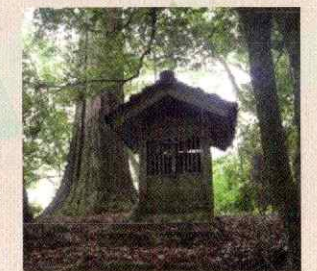
**31 白谷八幡宮**  
 幹回り8.5mの杉の巨木が市指定天然記念物となっていたが、平成17年の火災で枯死。今は株が残っています。毎年、4月第3日曜りと9月第3日曜日の祭りで獅子が舞います。

**32 山鹿の里**  
 松根城へ通じる小原道の途中に石碑が建てられています。



**33 大清水**  
 湧き水により、以前は「あしつき」が自生していました。市指定天然記念物。

**34 小白山(おじろ山)**  
 養老4年(720年)、秦澄大師が医王山に海蔵寺を開き、続いて「荊波の里」の東の山に小白山寺を開いたとされています。標高100m足らずの山にブナが自生し、ウラジロガシと混生している珍しい植物により市天然記念物に指定されています。



**35 佛性寺**  
 浄土真宗の寺。

### うちやま 内山

**36 内山キャンプ場(旧内山分校)**  
 昭和54年に廃校となった。運動場をキャンプ場として活用されています。



**37 覚順寺**  
 浄土真宗の寺。蓮如上人下向の折、初代覚右衛門が帰依。忠節を賞され本尊・六字名号を賜り、村に道場を開き、乗光寺内山教場と称しました。昭和27年に覚順寺の寺号を賜っています。

**38 松根城跡**  
 県境の松根山(308m)にある中世の山城。平成27年小原道と共に国指定史跡となりました。



**39 内山地滑り災害復旧記念公園**  
 昭和58年の地滑り災害の復旧工事完成を記念して昭和62年に整備されました。